

「禅寺の文化財拝観」

厳冬の中、案じられた天候も、幸い穏やかな晴天に恵まれ、2月6日（火）、講師・大貫昭彦先生のご案内をいただき、鎌倉の禅寺の文化財を拝観して歩きました。総勢27名での有意義な一日でした。



《円覚寺塔頭・白雲庵》

参加者の皆さん、晴れ晴れとした笑顔が素晴らしい。
この撮影をした私だけ写っていません・・・残念



《円覚寺境内・選佛場の前で》

選佛場とは自分の帰依する佛さまを選び出すという意味で、修行僧の座禅道場のことの由。
講師の解説を聞きながら堂内を拝観しました。



《円覚寺塔頭・松嶺院》

花の寺として知られる松嶺院の境内には、山野草150種類、牡丹300株があります。ちょうど蠟梅が見事な満開で、空の青さにも映えていました。このお寺には、水琴窟が二つあります。きれいな音色を聞かせてくれました。



《白雲庵本堂で》

正和3年(1314)北条時宗33回忌の年に創建された寺。本尊は宝冠釈迦如来像(南北朝)、東明慧日坐像(国重文)、龍図の天井画などがある。当時の歴史や仏像についても、講師から詳しい説明がありました。



《門前に見えた富士山》

少し小高いところにある白雲庵の門前から、気高く清い富士の姿が見えました。



《東慶寺の鐘楼》

山門を入りすぐ立派な鐘楼。講師の東慶寺についての詳しい解説を聞く。

いわゆる駆け込み寺として有名な東慶寺は、開山が北条時宗夫人の覚山尼で、創建は弘安8年（1285）。明治に入って縁切寺法が廃止され、尼寺廃止、男僧も入山した。寺宝としては、本尊、木造釈迦如来坐像（南北朝）、木造聖観音立像（重文）、木造水月観音半跏像などがあります。また東慶寺文書、縁切文書など300通もあります。

生涯学習「西柴」、3月は、江戸城外堀、四谷見附から赤坂見附、日枝神社をめぐるります。